

部局名	生涯学習部	所属名	男女共同参画課	所属長名	小谷野 幸子	電話	485-7088
-----	-------	-----	---------	------	--------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	4067	事務事業名称	男女共同参画センター運営事業					短縮コード	経常	4067	臨時	4068
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	05	社会教育費	目	12	男女共同参画費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	根拠法令等	八千代市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例 同条例施行規則 八千代市「女性、こころの悩み電話相談」事業実施要領								

事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)

昭和60年3月八千代市総合計画に「高度な学習や研修が拡大され、多様な活動を推進する婦人及び婦人団体の活動の場となる婦人研修センターを建設する」と位置付けられ、平成元年6月八千代市婦人研修センター（平成8年度からは女性研修センター、平成16年4月からは男女共同参画センター）が設置された。センターは、男女共同参画社会の形成の促進を図るため「第2次やちよ男女共生プラン第2期実施計画」により具体的な取り組みとして、男女共同参画に関する学習の機会及び活動の場を提供、個人又団体相互の交流の促進、その他必要な業務（女性、こころの悩み電話相談事業）を実施した。主な事業は、「男女共同参画講座」や女性の社会参画に向けた「女性チャレンジ支援セミナー」また、男性の家庭・地域への参画に向けた講座等である。

事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして
	大項目（節）	06	第6節男女共同参画社会
	中項目	01	1. 男女共同参画社会
	小項目（施策）	01	(1)男女共同参画社会形成の推進
		02	(2)男女共同参画の実践的活動の推進
	細項目	02	②男女が豊かに暮らすことができる環境の整備
		01	①活動支援の充実
実施計画の計画事業			

計画事業の位置付けの有無	<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~	計画事業費	千円
--------------	--------------------------	--------	---	-------	----

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	センターを利用している人 男女平等意識づくりの主催講座に参加希望している人
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成24年度に実際に行なったこと: 男女共同参画社会づくりの推進や女性の就労支援、男性の地域参画支援、男女で子育てする意識づくりの主催講座を実施した。また、市内団体からの講師やボランティア保育者及び庁内関係部署の協力を得て取り組んだ。参加者は、広報・男女共同参画だより・ちらし・ホームページにて募集し、参加者に講座終了後、感想・意見を聞き、今後の課題・改善策として取り入れた。男女共同参画センターの施設貸出業務については、公共施設予約案内システムにより、利用団体の利便性の向上が図られている。 ※平成25年度に計画していること: 男女共同参画社会づくりの更なる推進を図る事を目的に、一人でも多くの方に主催講座に参加してもらうため、講座内容を充実させる。ホームページや男女共同参画だよりに事業報告や案内、情報等を掲載し啓発につとめ、利用者の増加を図る。ボランティアの講師や保育者の協力により経費節減につとめる。
意図 (何を狙っているのか)	女性も男性も人として尊重され、その人らしく生きる事ができ、それぞれが個性を認めあえる社会。平等の意識づくりの推進。
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外

区分	単位	23年度	24年度		25年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	センターを利用している人の数	人	9,451	13,000
	指標2	男女平等意識づくりの主催講座に参加希望している人	人	323	400
	指標3				
活動指標	指標1	実施計画に基づいた講座の実施回数	件	7	9
	指標2	講座に参加した人数	人	297	350
	指標3				
成果指標	指標1	講座後に自主活動を行っている人数	人	60	70
	指標2	「女性、こころの悩み電話相談」件数	件	728	750
	指標3				
上位成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

コード	4067	事務事業名称	男女共同参画センター運営事業			所属名	男女共同参画課
事業費(A)	財源内訳	単位	23年度		24年度		25年度
			実績	計画	実績	計画	
		国 千円					
		県 千円					
		地方債 千円					
	一般財源	千円	2,300	2,387	2,300	2,348	
	その他	千円					
主な事業費の内訳			賃金1,991,820円 報償費94,000円 旅費9,750円 需用費97,136円 役務費101,823円 備品購入費4,980円	賃金2031千円 報償費103千円 旅費17千円 需用費102千円 役務費93千円 備品購入費41千円	賃金1,916,700円 報償費102,000円 旅費16,720円 需用費141,748円 役務費81,610円 備品購入費40,920円	賃金2030千円 報償費89千円 旅費20千円 需用費119千円 役務費90千円	
人件費(B)		千円	11,815	11,696.1	3,372	3,372	
トータルコスト(A)+(B)		千円	14,115	14,083.1	5,672	5,720	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価項目	評価事項	評価区分	理由
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている	男女共同参画センター運営事業は、主催講座、研修会、相談事業の実施、活動場所の提供により、活動支援の充実、意識や活動の普及・啓発、リーダーの育成と交流を図っており、総合計画前期基本計画「男女共同参画社会形成の推進」・「男女共同参画の実践的活動の推進」に結びついている。
		<input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある	
		<input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない	
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項	
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している	1. 市民のうち、センターを知って利用している人の割合が少ない。 2. 主催講座受講後に、自主活動や実践を通して、家庭生活や社会進出の実現に結びついている人の割合が少ない。 3. 相談業務については、「女性、こころの悩み電話相談」により、開設の目的である心配事について相談者の話を聞いて支援をする対応は、ほぼ図られている。
		<input checked="" type="checkbox"/> 達成していない	
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項	
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある	男女共同参画社会づくりを目指し支援団体の活動や利用者研修会等を通して市民と共に取り組んでいるところだが、意識改革等主要な課題の解決は十分に進んでいない現状がある。また、講座の内容や講師の選定等を含む啓発業務については、市民をとりまく急激な社会情勢の変化に対応するため行政としてより慎重な対応が求められ、事業の実施にあたっては市が直接施策の企画調整を行うことが適切である。また、上記の業務を除くと、委任可能な業務範囲が講習室・調理室・保育室・談話コーナーの管理に限られ、指定管理者制度導入の効果が認められない。
		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない	
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項	
	④「対象」・「意図」の設定は現状のまま良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい	現状の「対象」・「意図」で結果に結びついている。
		<input type="checkbox"/> 見直す必要がある	
		<input type="checkbox"/> 評価対象外事項	
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効性向上の可能性がある	
		<input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性がある	
		<input type="checkbox"/> 両方可能性がある	
		<input type="checkbox"/> 可能性がない	
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	男女共同参画センターでの主催講座や相談事業等の実施により、男女が平等に豊かに暮らせるよう環境の整備と意識の啓発を図る。主催講座から新規のグループからの支援団体の更なる増加に努めると共に、施設設置目的に照らし、利用希望者の活動内容を幅広く捉え、登録団体を増やしていく。地域団体・企業等との連携のもと、市後援団体への貸し出しや、センターを利用した共催事業等を企画し、利用の拡大に努めていく。
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時の任用職員等の活用	
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	
		<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し	
		<input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の方法	
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある	類似事業名称	実施主体(所管部署)
		<input checked="" type="checkbox"/> ない	

コード	4067	事務事業名称	男女共同参画センター運営事業	所属名	男女共同参画課	
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方針を選択し、その詳細について右欄に記入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 改革・改善して継続	やちよ男女共同参画プランに沿って、主催講座の開催、学習機会の提供、男女共同参画に関する活動団体への支援、情報誌やホームページによる情報提供を行い、市民、地域団体、企業の主体的な参画と連携のもと、事業の推進を図る。また、女性の様々な悩みや問題についての電話相談事業を実施し、精神的支援を図るとともに必要に応じて専門機関を紹介する。主催講座から新規のグループからの支援団体の更なる増加に努めると共に、施設設置目的に照らし、利用希望者の活動内容を幅広く捉え、登録団体を増やしていく。地域団体・企業等との連携のもと、市後援団体への貸し出しや、センターを利用した共催事業等を企画し、利用の拡大に努めていく。			
		<input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善				
		<input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小				
		<input type="checkbox"/> 統合・役割見直し				
<input checked="" type="checkbox"/> その他						
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止					
	<input type="checkbox"/> 事業完了					
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続					
成 果	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。	経 費			主催講座や相談事業を引き続き実施し、男女共同参画社会形成に向けて事業の推進を図る。	
			削 減	不 变		増 加
		向 上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
		不 变	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
低 下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見）
※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など

講座に参加した市民からは、「参加して良かった。役に立った。また機会があったら受講したい。」との意見を多く寄せられている。主催講座後に自主学習グループの男女共同参画社会づくり活動が行われており、事業の支援をしている。
平成18年3月定例会予算審査特別委員会において、「社会の現況から男性も仕事等の悩みを抱えているので、男性のための電話相談事業を検討して欲しい」との要望があった。

所属長コメント	主催講座の開催により、市民への学習の機会を提供している。広報やちよ・ホームページ及び男女共同参画だよりの発行等で市民への意識啓発を行っているが、男女共同参画センターの市民の認知度は低く、利用率はあまり上がってない。また、実際の施設利用者も設置目的（男女共同参画社会の形成の促進を図ることを目的に男女共同参画に関する学習の機会及び活動の場を提供するため）を十分理解しているとは言えない状況である。利用希望団体の活動内容を把握し、男女共同参画の趣旨を十分説明した上で、利用者研修を実施すると共に、これから貸館業務について、検討すべきであると考える。平成24年度は、「八千代市男女共同参画センターの設置及び管理に関する条例施行規則」の一部を改正し、休所日を毎週月曜から毎月第3日曜にすることにより、年間利用日数を増やした。女性、こころの悩み相談業務については、電話相談により年間700件を超える精神的な支援を実施しており、目的を果たしている。			
評価調整委員会評価	<input checked="" type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input checked="" type="checkbox"/> その他	男女平等社会への環境整備と意識啓発を図り、支援団体の更なる増加に努めると共に、地域団体・企業等との連携のもと、市後援団体への貸し出しやセンターを利用した共催事業等を企画し、施設利用の拡大に努めること。		
	<input type="checkbox"/> 廃止・休止			
	<input type="checkbox"/> 事業完了			
	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続			